安全データシート

VERSAPASS® DA-W v2 Cyan

JIS Z 7253 : 2019 に準拠
作成日: 2025/09/29　バージョン: 1.0

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称　：VERSAPASS® DA-W v2 Cyan

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途　：印刷用インク
使用上の制限　：追加情報なし

会社情報

仕入先

Memjet Ltd.
14 Montague Lane
Dublin 2, D02 PX60
Ireland
+353 1 678 0420
msds@memjet.com
www.memjet.com

輸入業者

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号　：CHEMTREC Primary Phone Numbers (24 hours): U.S. 1-800-424-9300, International: +1-703-527-3887
地元: 0800-300-5842

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	分類できない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	分類できない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高圧ガス	区分に該当しない
	引火性液体	分類できない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	分類できない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機過酸化物	分類できない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入：気体)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入：蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入：粉じん、ミスト)	分類できない

	皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分 1
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 2
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性　短期（急性）	区分に該当しない
	水生環境有害性　長期（慢性）	区分に該当しない
	オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP) : 警告

危険有害性 (GHS JP) : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ (H373)

注意書き (GHS JP)

安全対策 : 蒸気を吸入しないこと。(P260)
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272)
適切な保護手袋、保護服を着用すること。 (P280)

応急措置 : 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。(P302+P352)
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)
特別な処置が必要である(このラベルの補足的な応急措置の説明を見よ)。(P321)
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。(P333+P313)
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 (P363)

廃棄 : 内容物／容器を地方、地域、国内の法令や国際的法令に順守した危険廃棄物又は特別廃棄物の収集場所廃棄すること。 (P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
エチレングリコール	< 10	C2H6O2	(2)-230	既存化学物質	107-21-1
1，2-ベンゾチアゾリン-3-オン	< 0.5	C7H5NOS	(9)-1845	既存化学物質	2634-33-5

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合 : 吸入した場合、呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い場合は医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合 : 皮膚は水と石鹸で十分に洗浄する。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
皮膚刺激または発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 無理に吐かせてはいけない。
口内を水ですすぐ。
気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 吸入した場合 : 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

症状/損傷 皮膚に付着した場合 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
発赤。
かゆみ。
腫れ。
アレルギー性発疹。

症状/損傷 眼に入った場合 : 通常の使用条件下では、眼に入った場合の危険有害性は特にないと思われる。

症状/損傷 飲み込んだ場合 : 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

慢性症状 : 長期暴露もしくは反復暴露によって臓器に損傷を与える場合があります。

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 乾燥粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧、泡消火剤、周囲の火災に適した消火剤を使用

使ってはならない消火剤 : 強い水流は使用しない。

火災危険性 : 特別な火災または爆発の危険性を有しない。
燃焼により吐き気を催させる、有毒な煙が発生する。
火災や爆発の場合、ヒュームを吸い込まないこと。

火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある、
二酸化炭素、
一酸化炭素

消火方法 : 危険エリアから避難する。
それは個人的な危険でなければ、火災現場から容器を移動します。
水噴霧や霧水で熱にさらされた容器を冷却する。
安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
周辺火災を消火する際は適切な消火薬剤を使用する。
消火に使用した水が環境中に流出しないようにする。

消火時の保護具	: 自給式呼吸器具を着用する。 防火服／防炎服／耐火服を着用すること。 適切な保護具を着用して作業する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	: 皮膚、目、あるいは衣服との、すべての接触を避ける。

非緊急対応者

保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
応急処置	: 不要な職員を退避させる。 漏出エリアを換気する。 皮膚、眼との接触を避ける。 蒸気の吸入を避けること。 漏出した製品に接触することもその上を歩くこともしないでください。 適切な訓練を受けていない場合、個人的なリスクを伴う行動は行わないこと。

緊急対応者

保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。
応急処置	: 不要な職員を退避させる。 エリアを換気する。

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	: 環境への放出を避けること。 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法	: 可能であればリスクなく漏出をせき止める。 流出した物質は吸着剤で回収し、下水溝や水路への侵入を防止する。 注意：本製品により床が滑りやすくなることがある。
浄化方法	: 流出エリアからコンテナを移動する。 少量の漏出物は珪藻土などの適切な吸収剤で回収する。 大規模漏出の場合、溝に漏出を封じ込め、その後の安全な廃棄のため、湿った砂または土でふさぎます。 漏出エリアを換気する。 汚染された表面は多量の水で洗浄する。 下水道や公共用水域への侵入を防ぐ。
その他の情報	: 許可を受けた人/許可を受けた廃棄物処理業者、またはその他の適切な廃棄物処理技術を用いて処理する。 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: データなし

安全取扱注意事項	: 作業場における製品の放出を避けるため、または最小限にするため、技術的に必要なあらゆる措置をとる。 作業所の十分な換気を確保する。 部屋の排気および全般的な換気を確保する。 蒸気を吸入しないこと。 個人用保護具を着用する。 眼、皮膚、衣類につけないこと。
接触回避	: データなし
衛生対策	: 産業衛生および安全手順に従って処理する。 飲食前、喫煙前、または作業終了後は、手および汚染エリアをマイルドソープと水で洗浄する。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件	: 必ず元の容器に保管し、換気の良い冷暗所に保管し、下記の物質を遠ざける：直射日光、強力な酸化剤、乾燥した場所に保管すること。 食べ物、飲み物、動物の餌から遠ざける。 容器を密閉しておくこと。 一度開封した容器は適切に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する必要がある。 地方条例、地域規制、国の規制もしくは国際規制に従って保管してください。
安全な容器包装材料	: データなし

8. ばく露防止及び保護措置

監視方法 : 適用される国内外、あるいは地方の法律・規則全般に通じておく

エチレングリコール (107-21-1)	
日本 - ばく露限界値 (厚生労働大臣が定める濃度の基準)	
現地名	エチレングリコール # Ethylene glycol
８時間濃度基準値	10 ppm
短時間濃度基準値	50 ppm
規則参照	労働安全衛生規則第 577 条の 2 第 2 項（令和 6 年 4 月 1 日施行）

設備対策	: 部屋の排気および全般的な換気を確保する。 曝露が職業上の曝露限度を下回っていることを確認する (可能な場合)。 産業衛生および安全手順に従って処理する。 不必要なばく露を避ける。

保護具

個人用保護具	: 推奨される個人用保護具を着用する。
呼吸用保護具	: 通常の使用条件下では、呼吸保護具は必要ではない、粉じん、靄、蒸気が過剰に発生するおそれがある場合は、許可された呼吸保護装置を使用する。
手の保護具	: 適切な耐薬品性手袋を着用する、製造業者が指定する浸透性と浸透時間を遵守する。
眼の保護具	: 特定の眼刺激性データがなくとも本物質の取り扱い時は、使用条件に適した眼保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用する、使用条件にあわせて皮膚の保護を行う。

環境へのばく露の制限と監視	: 環境への放出を避けること。 排出、空気中への放出及び土壌への放出を削減または制限するオンサイトでの技術的条件及び対策。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 青色
臭い	: データなし
pH	: 6 – 8
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: 1 – 1.1
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
粘性率	: 2 – 4 mPa·s (25 °C)
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。 危険な化学反応についての情報はありません。
化学的安定性	: 通常の使用条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。 危険な重合： 発生しない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第 7 項参照）。日光から遮断すること。過熱。極度に高温または低温。
混触危険物質	: 酸化剤。
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

その他の情報	: 本成分に関する実験的研究は入手できない。従って、本情報は我々の成分に関する知識に基づいており、その分類は計算で算出している。
急性毒性 (経口)	: 分類できない
急性毒性 (経皮)	: 分類できない

急性毒性 (吸入) : 区分に該当しない(分類対象外) (気体)
区分に該当しない(分類対象外) (蒸気)
分類できない (粉じん、ミスト)

エチレングリコール (107-21-1)	
LD50 経皮 ラット	> 3500 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	> 2.5 mg/l/4h
LC50 吸入 - ラット (蒸気)	> 2.5 mg/l/4h

皮膚腐食性／刺激性 : 区分に該当しない

VERSAPASS® DA-W v2 Cyan	
pH	6 – 8

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 分類できない

VERSAPASS® DA-W v2 Cyan	
pH	6 – 8

呼吸器感作性 : 分類できない
皮膚感作性 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖細胞変異原性 : 分類できない
発がん性 : 分類できない
生殖毒性 : 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ

エチレングリコール (107-21-1)	
LOAEL (経口、ラット、90 日)	1000 mg/kg BW/日
NOAEL (経口、ラット、90 日)	150 mg/kg BW/日 （腎臓）

誤えん有害性 : 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性　短期（急性） : 区分に該当しない
水生環境有害性　長期（慢性） : 区分に該当しない

エチレングリコール (107-21-1)	
LC50 - 魚 [1]	72860 mg/l (Pimephales promelas)
EC50 - 甲殻類 [1]	> 100 mg/l (Daphnia magna)
EC50 96h - 藻類 [1]	3536 mg/l
EC50 96h - 藻類 [2]	6500 – 13000 mg/l (Pseudokirchneriella subcapitata)
NOEC (慢性)	≥ 1000 mg/l (23 d, Americamysis bahia)

残留性・分解性

VERSAPASS® DA-W v2 Cyan	
残留性・分解性	水中生分解性：データなし。

生体蓄積性

VERSAPASS® DA-W v2 Cyan	
生体蓄積性	生物濃縮に関するデータはない。

土壌中の移動性

VERSAPASS® DA-W v2 Cyan	
土壌中の移動性	データなし
生態系 - 土壌	追加情報なし。

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

その他の有害な影響

その他の有害な影響 : 追加情報なし

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分 : 国、地域の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法 : 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
残余廃棄物 : 環境への放出を避けること。
推奨下水処理 : 廃棄物を下水へ廃棄しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

輸送規則の定義上危険物に該当しない。

国連勧告(UN RTDG)

国連番号 (UN RTDG) : 規制されていない
正式品名 (UN RTDG) : 規制されていない
容器等級(UN RTDG) : 規制されていない
輸送危険物分類（UN RTDG） : 規制されていない

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

化審法 : 優先評価化学物質（法第２条第５項）
労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第５７条第１項、施行令第１８条第２号～第３号、安衛則第３０条別表第２）

【改正後 令和８年４月１日以降】
名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第５７条第１項、施行令第１８条第２号～第３号、安衛則第３０条別表第２）
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第５７条の２第１項、施行令第１８条の２第２号～第３号、安衛則第３４条の２別表第２）
エチレングリコール （別表の番号 : 261） (1 ~ 10%)
【改正後 令和８年４月１日以降】
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第５７条の２第１項、施行令第１８条の２第２号～第３号、安衛則第３４条の２別表第２）
エチレングリコール （別表の番号 : 261） (1 ~ 10%)
腐食性液体（労働安全衛生規則第３２６条）
濃度基準値設定物質（安衛則第５７７条の２第２項、令和５年４月２７日告示第１７７号、令和５年４月２７日公示第２４号）
皮膚等障害化学物質等・皮膚吸収性有害物質（安衛則第５９４条の２第１項、令和４年５月３１日基発０５３１第９号、令和５年７月４日基発０７０４第１号・５該当物質の一覧）

水質汚濁防止法 : 指定物質（法第２条第４項、施行令第３条の３）
大気汚染防止法 : 揮発性有機化合物（法第２条第４項）（環境省から都道府県への通達）
海洋汚染防止法 : 有害でない物質（施行令別表第１の２）
有害液体物質（Ｙ類物質）（施行令別表第１）
有害液体物質（Ｚ類物質）（施行令別表第１）
有害液体物質（Ｙ類同等の物質）（環境省告示第１４８号第２号）
有害液体物質（Ｚ類同等の物質）（環境省告示第１４８号第３号）
外国為替及び外国貿易法 : 輸入貿易管理令第４条第１項第２号輸入承認品目「２の２号承認」
輸出貿易管理令別表第１の１６の項
輸出承認貨物・特定有害廃棄物等（法第４８条第３項、輸出令第２条別表第２の３５の２の項）
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法） : 特定有害廃棄物（法第２条第１項第１号イ、平成３０年６月１８日省令第１２号）
水道法 : 有害物質（法第４条第２項）、水質基準（平１５省令１０１号）
労働基準法 : 疾病化学物質（法第７５条第２項、施行規則第３５条別表第１の２第４号１）

16. その他の情報

参考文献 : 供給者の安全文書等。
特定の訓練の必要性 : 正しい取扱いの為の職員研修。

免責条項　当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。